日本キリスト教団 東金教会〔３４〕

2020年８月２３日 聖霊降臨節第１３主日礼拝

年度目標 《教会の民として生きる》

聖句 良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。声をあげよ、恐れるな イザヤ書４０章９節

【礼拝式次第】

司式	武田	
奏楽	中村	
受付	王	
案内	王	
名札係	岡村	
礼拝感謝祈祷	五木田	
〃 〃	安延	
前奏	中村	
讃美歌	５５	一同
使徒信条	５６６	〃
交読文	３２	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書	司会者	

〈マルコ福音書３章３１節～３５節〉

祈祷	武田	
新聖歌	３５５	一同
み言葉の伝え	中村	

〈主イエスの家族〉

讃美歌	２６７	一同
献金		
礼拝感謝	五木田	
〃 〃	安延	
報告	武田	
頌栄	５４１	一同
祝祷(派遣)	中村	
後奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖研祈祷会 ８月２６日(水)休会
早天祈祷会 7:00～(除・木/日/祭日)メーヤー館
牧師誕生会 本日礼拝後
聖書輪読会 8月３０日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷 8月３０日(日)10:25-10:30

【報告】

☆礼拝の持ち方についてのお願い
礼拝は従来のように座ってお守り下さい。但し祝祷後のアーメン頌については最前列に座られる方(ベンチ１脚につき２人まで)は牧師と共に講壇を向いて起立して讃美しても可です。前列以外に座っている方は前列の方に配慮し最後まで座ったままで讃美して下さい。

☆週報棚に礼拝奉仕スケジュール表が入っております。礼拝奉仕者の肩は宜しくお願い致します。また、新たにご奉仕をして下さる方は牧師まで申出下さい。

☆去る８月１６日持たれました「ＣＳ夏のおたのしみ会」は教会学校生徒２６名の参加を見、楽しく行うことができました。ご加祷有難うございました。

☆本日は牧師誕生日会がございます。

☆８月３０日は梅田先生に講壇をお守り戴く予定です。ご加祷下さい。

☆千葉支区祈りのカレンダー（掲示板）
今週は天王台教会(高田和彦牧師)が対象教会です。お祈り下さい。

☆マルコ福音書連続講解説教のCD希望者は牧師まで申出下さい。

【８月２３日～８月２９日の誕生者】

○8/24佐藤 君 ○8/24中村 牧師
○8/26永井 姉 ○8/27鈴木 姉
○8/28岡村 兄 ○8/28宇野 姉 ※
互いに主に繋がる枝です。祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(8/16)	15	31	46
聖研祈祷会(8/19)			
聖書輪読会(8/16)	2	4	6
教会学校(8/16)	7	11	18

早天祈祷会			
日	男	女	計
8/17	1	1	2
8/18	2	1	3
8/19	1	1	2
8/21			
8/21			

主日礼拝献金(8/16)……４１,０００円
教会学校献金(8/16)……６,４５０円

【今日のメッセージ】

題 〈主イエスの家族〉
聖書 マルコ福音書3:31～35
1・家族の歴史

2・「外に立ち」

3・神の家族

【次週(８月３０日)礼拝式案内】

み言葉の伝え 〈主イエスの家族〉
聖書 マタイ福音書１６：２１～２８
交読文 ３３
讃美歌 ６２番 ４９５番
新聖歌 ４２８番

【次週(８月３０日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	… 梅田
司式者	… 宮田中
奏楽者	… 中村本
受付者	… 澤枝
案内者	… 三延
名札当番	… 安野
礼拝感謝祈祷	… 猪田
〃 〃	… 武村
csお話し	… 中
会堂清掃者	… 幼稚園教諭
〃 〃	…
花係	… 中村
看板書き	… 澤本

【聖書から】

「イエスが家に帰られると、群衆がまた集まって来て、一同は食事をする暇もないほどであった。身内の人たちはイエスのことを聞いて取り押さえにきた。『あの男は気が変になっている』と言われていたからである。」

マルコによる福音書三章十三節

イエスの働きは二つの渦を引き起こした。一つはイエスを信じ、これに助けを求める群、他はこれを排除し、イエスの評価を抹殺しようとする群であった。この二つの群があったということ、そして特にイエスの業を信じる群が多くいたということは主イエスのお働きがこの世で正しい価値をもった働きであったということを証明していることである。もし彼の働きが異常であり、人を混迷や恐怖に陥れるだけのものであったら人はこれを恐れ、多くの者が彼に来ることはなかったと思う。大衆の判断は多く健全であり、自分の理屈を先行するのでなく、何よりも起こった出来事をそのままに受け入れたのである。しかし問題はこれを否定するグループの存在である。彼らの反対は主イエスの働きを根柢から抹殺しようとする激しさを持っていた。「彼は気が違っている」、それが彼らの言い分であった。自分と考えが違う。イエスの言うこと、為すことは世の常識から外れ、このようなことはあろうはずがない！彼らの根柢にはこのような徹底的な否定がある。近代に始まる合理主義は現代において益々猛威を振るっているがこの考えは古代からあったのである。主イエスの神的なお働きは彼らの日常から考えて否定さるべきであった。この否定は現代のキリスト者に通ずる。現代のキリスト者も聖書から神的な働きを抜き取り、自分の合理的思考と一致させるべく四苦八苦しているのが現実である。しかし聖書は揺るぎなくこの世を超越した神の存在を宣告し、この神の力に現実的に与るべきことを主張する。どうしたらそのように生きれるか？自分の理性に神の主張を合わせるのでなく、神の主張に自分を服従させることを強いるのである。この謙遜が必要である。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。